



公開委員会のお知らせ



テ ー マ : 「自動車やモータースポーツを仕事にするための自分作り」

言うまでもなく自動車は人類の生活を大きく変えた一大発明であり、100 年に一度の変革を迎えて、その関わる裾野はますます広がっている状況である。その中で、自動車業界、そしてモータースポーツの仕事に携わっていくのにはどんな準備がいるのか、実際の仕事にはどんな魅力があるのか、本会では 3 つの講演を通してそのヒントを紹介して自動車エンジニアを目指す人たちと議論する場を提供したい。

日 時 : 2025 年 10 月 4 日 (土) 13 : 00 ~ 17 : 00

会 場 : 上智大学 2-309 号室 (四谷キャンパス)

主 催 : 公益社団法人自動車技術会

企 画 : モータースポーツ部門委員会

参 加 費 : 無料

申込締切日 : 2025年9月28日 (日) 23:00

申 込 方 法 : 下記 WEB サイトよりお申し込み下さい。

⇒現地参加 : <https://tech.jsae.or.jp/opencom/Entry.aspx?id=0132>

⇒オンライン参加 : <https://tech.jsae.or.jp/opencom/Entry.aspx?id=0133>

お問い合わせ : 公益社団法人自動車技術会 技術交流グループ 技術交流課

E-mail : / tech@jsae.or.jp TEL: 03-3262-8235

*****プログラム*****

13:00 - 13:05

開催挨拶 モータースポーツ部門委員会 委員長 石川 裕造 氏 (ニッサンモータースポーツ&カスタマイズ(株))

13:05 - 13:10

議題紹介 モータースポーツ部門委員会 委員 藤井 順子 氏 (一般社団法人 WOMEN IN MOTORSPORTS)

13:10 - 14:00 【講演】

ソフィアレーシングの活動紹介 上智大学 (有川 慧氏)

車両展示 : 上智大学 講義棟外

要 旨 : 学生フォーミュラ日本大会2025に参加したソフィアレーシングの活動の紹介 及び車両展示と車両紹介

14:00 - 14:50 【講演】

ルマン挑戦の記録 - 日産Group-Cカーの開発に携わったエンジニア達の足跡 -

山根 健 氏、石川 裕造氏 (元 日産自動車モータースポーツ開発室)

要 旨：伝統のルマン24時間レースに日本車の挑戦が始まった時代、速さの追求に加えて燃料総消費量規制に対しての省燃費高効率化が求められる規則に対し、グループCカー専用のエンジンは、どのようなコンセプトで、どのような開発体制で技術開発を進められたのか、今日のモータースポーツ技術の原点ともいえる開発を振り返る。

量産車用エンジンの研究および先行開発部署に配属された両名がルマン24時間レースでの必勝の使命を帯びたエンジンの開発に配属された背景と、濃密な3年間の取り組みがその後のエンジニアとしての活動にどう活かされたかを紹介する。

14:50 - 15:10 【休憩】

15:10 - 16:30 【講演】

F1チームエンジニアの仕事について（ザウバーF1 キリアン・マイヤー氏）

■ 講師からのメッセージ：モータースポーツに関心をお持ちの皆様、初めまして、西村キリアンです。

十三年間、エンジニアとして、モータースポーツで集めた経験をお伝えしたいと思います。

10月4日、上智大学で開催される自動車技術会モータースポーツ部門委員会、公開委員会でのプレゼンテーションをさせていただきます。よろしくお願いします。

16:30 - 17:00

懇談会 ※場所等詳細は調整中

* 注意事項：公演中の録画・録音はお控えください。

各講師略歴：

① 有川 慧氏（上智大学/ソフィアレーシング・学生フォーミュラチーム）



* 車両に載っているのが有川氏

有川 慧 氏

上智大学経済学部経営学科 4 年

2025 年 Sophia Racing チームリーダー

Sophia Racing

2000 年創立の日本で最も古い学生フォーミュラチームの一つ。

ICV で 5 度の総合優勝を達成した後、2023 年より EV の開発に着手。

日本で唯一、アルミハニカムモノコックを採用するチームでもある。

② 山根 健 氏（山根健オフィス）



1973	3	早稲田大学理工学部機械工学科卒業（低 NOX 燃焼器） 熱工学専攻コース、熱力学、熱管理技術。
1975	3	早稲田大学理工学研究科熱工学修了（フライホイールによる回生制動） 早稲田大学および国士舘大学熱コース助手
1975	4	日産自動車(株) 入社
1975	6	日産自動車(株) 中央研究所 新動力研究部配属。蒸気エンジン自動車研究、 エンジン設計担当。
1976	9	同部内、新研究テーマ探索グループに配属。ターボチャージャー研究および、 ハイブリッドシステム研究を提案。
1977	4	新動力研究部でターボチャージャー開発担当。全体構造、主軸設計、製造技術 を主担当。
1978	6	ターボチャージャー付エンジン開発を、機関設計部と協同で担当。セドリック 用 L20T、ブルーバード用 Z18T、ブルーバード用 LD20T(ディーゼル)および ローレル用 LD28T(ディーゼル)等を担当。
1978	12	ターボチャージャー(N1 型)開発で、社長賞 2 級受賞。
1981	1	中央研究所、機関研究部、特別研究チームに参加。海外を含む研究ネットワ ーク構築を研究。
1981	6	ロンドン大学インペリアルカレッジへ社命留学。ワトソン教授の下で、「ター ボチャージャー付ガソリンエンジン燃焼」研究。欧州および米国駐在員オフィ スと連携して自動車メーカ、部品メーカ、研究機関を訪問、調査を実施。
1983	10	中央研究所、機関研究部に復帰。新型ターボチャージャー開発を担当。ターボ チャージャー付エンジン、新型過給システムを含む、過給エンジン全体を主 導。
1985	4	新型 4 気筒エンジン開発基本計画副リーダー兼任(～1986 年 8 月)
1986	6	英国機械学会で「新型ターボチャージャー」についての技術講演。
1986	9	新型 V8 エンジン吸排気系設計統括兼任
1987	9	モータースポーツエンジン開発部配属。レース用エンジン開発主担当。 NPTI（北米）駐在(1990 年 9 月～1991 年 3 月)
1989	1	機関実験部 動力性能計画課課長、駆動実験部 実験課主担当兼任。 社内横断「運動性能・運転性」計画・評価チームリーダー。
1992	6	日産自動車退職

1992	7	BMW Japan に入社、エンジニアリング部に配属。 日本向け車両の適合、確認試験等担当。 パワートレイン及びシャシー開発、車両開発部門に短期駐在。 モータースポーツ部門、先行開発部門、生産技術部門の業務支援実施。 広報部門と協力して、技術・製品広報活動実施。
1999	2	BMW 本社でのパワートレイン開発兼任（～2003/12）

2004		経済産業省、水素安全利用プロジェクト評価委員（～2006/3）
2004	4	自動車技術会；モータースポーツ部門委員会幹事、アクティブセーフティ部門オブザーバー委員、ガソリン機関委員、伝熱部門委員。
2006	10	BMW Hydrogen 7（水素自動車）プロジェクト車両運営責任者（～2007/12）
2007	4	テクノロジーオフィス 統括部長 BMW 本社にて project i に参加、新開発EVのコンセプト、新素材利用研究、熱マネジメント開発等に参加。
2009	5	自動車技術会プロフェッショナルエンジニアに認定される。
2009	7	BMW Japan を定年退職、山根健オフィス設立。9月より東海大学動力機械学科講師。10月より技術顧問。電気自動車プロジェクト等担当。
2014	3	GT300 Steiff BMW Z4GT3 チーム技術監督
2015	12	BMW Japan 技術顧問を退任。
2016	3	レッドブルエアレース・チーム室屋に参加。～2019/12、2024～
2015	12	某社の航空機開発プロジェクトに参加。～2019/3

1992/9～1994/12 TeamSARD にてルマンレース用車両 SARD MC8 開発に参加。（BMW の許諾の下）

最近のレース活動

2014～2016 SuperGT GT300 Team BMW Studie 技術監督

2016～ Red Bull Air Race Team Falken 開発担当 技術スタッフ（2016～18 レース同行）

2016 全日本ラリーTeam Luck SARD コバライネンドライバー 技術監督

2017 SuperGT GT300 技術監督

2019～21 スーパー耐久 ST5 チーム（2 台体制）のチーム監督。

③ 石川 裕造氏 （ニッサン・モータースポーツ&カスタマイズ(株) ）



生年月日： 1961 年 4 月

出身地： 群馬県渋川市

1986 年	日産自動車(株)入社 中央研究所 動力機構研究所 第 1 研究室でガソリンエンジン制御開発を担当
1987 年	動力機構研究所 第 4 研究室としてモータースポーツエンジン開発室が発足 エンジン開発メンバーとして加わる 1987～93 グループ C 用 VRH35Z、VRT〔V12NA3.5L〕 1994～95 全日本ツーリングカー選手権用 SR20DE エンジン 1995～99 ルマン 24 時間レース用 RB26L、VRH35L、VRH50A エンジン
1999 年	量産エンジン開発部署へ異動 米国フルサイズピックアップ、SUV 用 VK56DE (V8 5.6L) エンジンの開発担当
2003 年	ニッサン・モータースポーツ・インターナショナル(株) へ出向 エンジン開発組織を立ち上げ、JGTC/SUPER GT 用 VQ30DE エンジン開発を担当
2005 年	日産自動車に復職し、NISSAN GT-R 用 VR38DETT エンジン開発を担当
2008 年	ニッサン・モータースポーツ・インターナショナル(株) へ出向 パワートレイン開発部 及び 開発管理部 ジェネラルマネジャー モータースポーツ用エンジン、ドライブトレインの開発を担当 SUPER GT 用 VRH34A、VRH34B、NR20A FIA GT1 用 VK56DE
2017 年 4 月	ニッサン・モータースポーツ・インターナショナル(株) 取締役 常務執行役員 (車両開発部門担当)
2022 年 4 月	ニッサン・モータースポーツ&カスタマイズ(株) 常務執行役員 (モータースポーツ開発部門担当)

④ キリアン・マイヤー氏 (Kilian Mayr)



Sauber Group

フルタイム・5年5ヶ月

Head of Performance Methodology and Advanced Projects

2025年1月 - 現在・1ヶ月 Hinwil, Zürich, Schweiz・オフィス勤務

Senior Project Leader Aero Analytics 2024年3月 - 2025年1月・11ヶ月

Senior Aero Performance Engineer 2019年9月 - 2024年3月・4年7ヶ月 Hinwil, Zürich, Schweiz

Sauber Motorsport AG

Sauber Motorsport AG 5年

Research Aerodynamicist 2018年3月～2019年9月・1年7ヶ月

Junior Research Aerodynamicist 2016年4月 - 2018年3月・2年 Hinwil

Junior Aerodynamicist 2014年10月 - 2016年4月・1年7ヶ月 Hinwil

Abt Sportsline Abt Sportsline 2年8ヶ月

Performance Engineer 2012年1月 - 2013年9月・1年9ヶ月

- Race strategy support
- Driver and vehicle performance analysis
- Statistical analysis via algorithms
- Parameterisation, validation and application of lap time simulation

Data-Engineer 2011年2月 - 2011年12月・11ヶ月

- Data Engineer for Timo Scheider
- Driver and vehicle performance analysis
- Race strategy support
- Development of analysis tools using MATLAB

学歴

University of Southampton

Master of Science (M.Sc.)、Race Car Aerodynamics Master of Science (M.Sc.)、Race Car Aerodynamics 2013年 - 2014年 2013年 - 2014年

Oxford Brookes University Oxford Brookes University

Bachelor of Engineering (BEng)、Motorsport Engineering Bachelor of Engineering (BEng)、Motorsport Engineering 2006年 - 2011年 2006年 - 2011年

成績: First Class Honours

個人情報の取扱いについて

公益社団法人自動車技術会（以下、本会といいます。）は、公開委員会に参加申し込んだ氏名、住所、電話番号等の情報（以下、「個人情報」）を、以下の通り取扱い致します。

1. 個人情報の利用について

お申込みいただく際に取得する個人情報について、以下の目的に利用致します。

- i。開催における参加者への必要な確認、連絡
- ii。申込者受付リストの作成
- iii。自動車技術会の活動（講演・イベント事業、出版・販売事業、学生・育成事業、委員会事業、会員事業）に関する依頼・ご案内

2. 業務委託について

本会は、本行事に関し、運営管理業務を業者へ委託する場合があります。この場合、本会は業務委託先と守秘義務契約を締結するとともに、厳正な管理監督を行います。

3. 個人情報の開示、訂正、廃棄に関して

参加申込時にご登録いただいた個人情報の開示、訂正、利用停止を希望する場合には、下記の問合せ先までご連絡下さい。なお、これらの個人情報の廃棄は、必要な期間が過ぎると同時に、できるだけ速やかにかつ安全に行います。

4. 問合せ先

公益社団法人自動車技術会 技術・規格グループ tech@jsae.or.jp

※個人情報保護規則、プライバシーポリシーについては、こちらをご覧ください。

個人情報保護規則：<http://www.jsae.or.jp/01info/rules/privacy.pdf>

プライバシーポリシー：<http://www.jsae.or.jp/tops/privacy.php>